

# 大阪城

2025

2/6 (木) 145/17号

全港湾  
西成分会

2x47  
6647-  
4947

今週は6度ほどの度で、この冬一番の寒さに  
なるという。北海道では半日で2メートルの降雪に  
なったという。今週が春に向けての最後の寒さの  
峠かもしれない。

今日から2/8(土)まで、石破首相がトランプ大統領に  
会いに行く。どんな結論、結末になるだろうか。  
アメリカはカナダ、メキシコに25%の関税をかけるこ  
い。今は一ヶ月延期で中国には2/4、10%の関税をかけ  
中国は最大15%の報復関税をかけ、米中の貿易戦  
争になりはじめている。そんな中での日米関係は  
どうなるだろうか。

ペリーの黒船が170年ほど前に日本にやってきました。時を  
まるとアメリカの目的は中国を見つゝるし、日本はその  
ための足場であり、駒である。それは今もかわらない。  
では、日本国の根本的戦略から考えたら、アメリカは  
何なのかつ？、それが今も、スラッスラで定まらな

1944(昭和19)年と1945(昭和20)年、4年間だけ対米戦争をやっ  
てはめたが、コテンパーにやらせて、アメリカに従ってき  
る。戦後80年がわらなない。中国は科学力では  
アメリカと肩をならべる大国に復活してきた。アメリカは  
来年の7/4建国250年だといつ。石破訪米はそんな  
なか、170余年の日米の歴史の中、なんか新しい生命あるものと  
生みだせるだろうか。

# 想定を超えた大災害に

道路陥没事故

## 弱い地盤救助阻む 埼玉陥没1週間2次災害危険

埼玉県八潮市の県道交差点で道路が陥没しトラックが転落した事故は、4日で発生から1週間となった。

トラック運転手の70代男性の救助活動は水や砂に阻まれ難航しており、一進一退の状況が続いている。

陥没が発生したのは1月28日午前。当初は長径約9<sup>メートル</sup>、短径約5<sup>メートル</sup>の楕円形の穴だった。翌29日には消防がトラックの荷台部分をレーンで引き上げたものの、運転席部分は穴の内部

## 人手不足自治体苦悩下水道補修追いつかず

埼玉県八潮市で起きた陥没事故を受け、他の自治体も対応に苦慮している。陥没を引き起こす劣化がないか各地で下水道設備の緊急点検が進むが、管路の老朽化は今後急速に進行する見込みで、技術職員の不足も大きな壁になっている。各自治体は定期的に管を点検し、交換や補修を進めているが、追いついていないのが実情だ。

技術系職員の不足も、各地で課題となっている。補修対象が増える中、団塊世代の一斉返慨などで技術者が減少。下水道に関わる全国の職員数は、2008年度の約3万3500人から、23年度2割減の約2万6600人になった。

今回の緊急点検で、相模川地域の8市町約58<sup>キロ</sup>分が対象とわった神奈川県は、下水の流れの目視確認などを急ピッチで進めている。

毎日新聞朝刊25-02-06

弱体化する「建設・土木の力」

求められる建設職人